

令和7年度 あすなろ幼稚園 学校評価（教職員）結果報告

1 本園の教育目標

「豊かな情操と社会性をもつこども」

「我慢強い 頑張りのきくこども」

教育基本法，学校教育法及び幼稚園教育要領に基づき，私学教育の特色を生かして人間形成を行い，強く，正しく，明るく，優しく，豊かな情操と社会性を持つこどもの特に，苦難やつらさに耐えていける我慢強いがんばりのきく子どもを育てる。

2 本年度の重点教育目標

評価項目に沿い，自己点検，自己評価を実施することによって教職員自らが客観的に自園を見る目を養い，施設の改善，教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

はっきり話す子の育成

3 評価項目

A十分に達成 B概ね達成 C取り組んでいるが不十分 D大幅な改善が必要

(1) 園運営について

	評 価 項 目	A	B	C	D
1	園の教育目標や本年度の重点が職員間で共通理解が図られている		○		
2	施設設備等の教育環境の充実・設備に努めている		○		
3	園内の園務分掌・役割分担が明確に決まっている	○			

【課題・成果等の考察～記述】

1 重点教育目標については，具体的な子どもの姿で表し，全職員の共通理解の下，園児一人一人の成長を大切にクラス経営の充実を目指すことができた。その結果，各行事や日常の活動において「はっきり話す子」の姿を確認することができている。今後も年度初めに全職員で共通理解を図る場を設定し，その具現化を意識しながら保育を進めていきたい。

また，重点目標の保護者への周知については，ホームページや連絡アプリ等において，保護者にも理解いただけるよう努めているものの，さらに年度初めに周知を徹底し，園が目指す方向性を明確にして職員や保護者の共通理解や協力を図っていきたい。

2 施設は経年劣化が進んでおり，床や天井の傷みやはがれなど気になる部分がある。月末に設定している安全点検日の実施により，修繕が可能な部分や緊急性のある部分については，早急に対応できている。今後も園児の事故・怪我防止を最優先した補修に取り組んでいきたい。

3 園務分掌については，業務内容と役割を明確にし，円滑な園運営に結び付けることができた。役割は毎年変わるので詳細な引継内容を心がけ，職員間の対話と連携を密に取り組んでいく。

とりわけ，今年度は年度途中で，職員の退職や異動，休職など大きな動きがある中，職員減にもかかわらず業務が滞ることなく，チーム力を発揮し，工夫改善を試みながら進めて行けた。

(2) 教育課程・指導計画について

	評 価 項 目	A	B	C	D
1	地域の自然や施設を活用した教育課程・指導計画を作成している	○			
2	園児の年齢や発達段階に応じた教育課程・指導計画を作成している	○			
3	常に行事や日常保育の反省を生かした指導計画の改善に努めている		○		
<p>【課題・成果等の考察～記述】</p> <p>1 幼稚園の教育目標「豊かな情操と社会性をもつ子ども」「我慢強い 頑張りのきくこども」の具現化のため、幼稚園教育要領を踏まえ、指導計画に加筆、修正を加えつつ、園を取り巻く環境や子どもの実態に即した教育課程及び指導計画を作成している。具体的には。地域にある図書館や様々な公園への散歩を指導計画に位置付けている。</p> <p>また、公園への園外保育の際には、年齢に応じた距離を考慮した計画を作成し、事前に歩いてみるなどして危険箇所等を把握し、必要に応じて市へ草刈りを依頼するなど環境整備を実施することができた。さらに、地域の自然や施設を開発し、価値ある体験活動を位置付けていきたい。</p> <p>2 昨年度から教育課程・年間指導計画の作成を全面的に見直し、目の前にいる園児の発達段階に合致した計画を作成している。</p> <p>3 各行事の反省を毎回、職員1人1人が記録し、担当がまとめるなど見える化した。各職員の多角的な観点からの反省を活かして、次年度への改善に結びつくよりよい指導計画の作成に結び付いている。今後も職員間の連携を図りながら子どもたちへの指導を行っていきたい。</p>					

(3) 環境構成について

	評 価 項 目	A	B	C	D
1	園内外の清掃，整理整頓，換気，採光，室温，消毒に気を配り，安全に生活できる環境づくりをしている	○			
2	毎月，園内外の施設安全点検を実施し，修繕するよう努めている		○		
3	年齢や発達に応じた遊具，おもちゃ，教材，絵本等が準備されている	○			
<p>【課題・成果等の考察～記述】</p> <p>1 夏の猛暑には空調設備で対応し、保育室の換気も声をかけあいこま目を実施しているが、具体的に園全体で時間を設定し実施できるとよい。</p> <p>2 毎月末の安全点検と毎日のていねいな清掃はしているものの園舎及び遊具等が古いため、金額の張る修繕や全ての補充要請に即時に応じられない実態が課題となっている。</p> <p>3 玩具については各種補助金制度の活用で補充し、年齢や発達段階に応じた教材については職員間で話し合いながら整えられている。絵本については、毎年、各学年向けに数十冊購入されているが、さらに各学齢に即した内容の絵本を補充し、日々の読み聞かせに活用していきたい。</p>					

(4) 指導内容・方法について

	評 価 項 目	A	B	C	D
1	遊びを通して集団生活のルールを学んだり、我慢や粘り強さを培う経験を意図的にさせている	○			
2	園児が意欲的に造形活動（描画・製作等）や音楽活動、運動遊びに取り組む時間を十分に設定している	○			
3	メリハリのある全体指導と個に応じたきめ細かな指導を心がけている	○			
<p>【課題・成果等の考察～記述】</p> <p>1 日々の生活や遊び、行事への取組の中で集団生活のルールを学び、思い通りにはならないことへの我慢や苦手なことにもあきらめずに取り組む粘り強さを身に付けさせることができた。</p> <p>2 描画や製作は年間を見通して計画的に実施している。今後、音楽活動や運動遊びをもう少し増やす方向で計画に位置付けたい。また、個別指導を充実したことで集中して取り組む姿が多々見られた。</p> <p>3 指導方法については、職員同士で指摘・アドバイス・相談をし合える風土が構築されている。今後も、自己流の保育にならないよう幼稚園教育要領を再確認し、理解を深めた上で、子どもたちの成長に繋がる指導方法の向上を図りたい。今後も子どもたちが、楽しい園生活を送り、園児の学びの経験を豊かに広げることができるような保育内容の提供に努めていく。</p>					

(5) 保育者の資質向上について

	評 価 項 目	A	B	C	D
1	研修や研究会に自己課題をもって臨み、自己課題の改善や、自分の能力を一層高めるよう努めている	○			
2	幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を意識した活動を工夫展開し、指導に努めている	○			
3	園児の実態を把握し、興味関心に応じた活動を展開できるよう常に教材研究を行っている。	○			
<p>【課題・成果等の考察～記述】</p> <p>1 可能な限り研修に参加し、新しい保育の動向を実際の保育に導入したり、自己課題の解決に向けて取り組んだりしているが、更に園内研修でも取り上げ同僚との意見交流に繋げたい。</p> <p>2 幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿については、理解が不十分なため、研修時間を確保して学びを深めたい。また、毎月1回、自園に音楽講師を招聘し、課題曲や行事曲を指導していただき、担任教諭のピアノ技術を高める研修を実施している。</p> <p>3 子どもの個性を尊重し、個々の得意分野を伸ばしていく活動や自信に結び付くような言葉掛けができるよう研鑽している。研修を積むことで保育の質の向上が見られている。</p>					

(6) 特別支援教育

	評 価 項 目	A	B	C	D
1	特別な支援を必要とする園児について教職員全員で共通理解を図り、支援体制を整えている	○			
2	特別な支援を必要とする園児について関係機関との連携が適切に図られている		○		
3	特別支援教育について理解を深め、園児の困り感に対応する支援に努めている		○		
<p>【課題・成果等の考察～記述】</p> <p>1 支援の必要な子どもの特徴や個々への対応について、有効な支援方法を職員全体で共有するケース会議を設けている。また、各クラスには補助教諭が入り、支援体制を整えている。</p> <p>2 各種関係機関との連携については、コーディネーターの下、個別の支援計画等の提供や実際に子どもの様子を見学し合うなど、双方向でのきめ細かい連携が図ってきたが、年度途中のコーディネーター退職に伴い、今後、スムーズな連携方法の具体を検討する必要がある。</p> <p>3 職員1人1人が特別支援教育について一層理解を深め、それぞれの子どもへの具体的な関わり方について全職員で共通理解を図りながら取り組んでいく必要がある。</p>					

(7) 家庭・地域との連携

	評 価 項 目	A	B	C	D
1	園だより・クラスだより・HP等で幼稚園の情報を適切に伝えている	○			
2	未就園児への園開放や保護者の要望に応じた預かり保育を実施し、子育て支援に努めている	○			
3	行事への積極的な参加や幼稚園運営への理解・協力を促している	○			
<p>【課題・成果等の考察～記述】</p> <p>1 園だより・クラスだより・HP・連絡アプリ等で日々の活動報告、各種連絡、子どもの成長の様子など継続的に幼稚園の情報を発信し、家庭地域へ幼稚園教育に対する理解を深めることができた。特に、日々の保育活動の毎日の情報発信は保護者からも高評価をいただいている。</p> <p>2 今年度は園開放申込者が5～8名いたが、次年度の入園につなげることは難しい状況である。子育て相談を受けることも多く、保護者の支援も実施できているが、年々入園児が減少している現状が課題である。</p> <p>3 個人懇談週間を年2回設定し、個々の子どもの様子や保護者からの要望など聞き取り、意思疎通を図っている。緊急時には、メールにて連絡事項を保護者に迅速、正確に伝え、情報提供をスムーズに行う事ができており、父母の会を中心に円滑な幼稚園運営にも協力的である。</p>					

(8) 危機管理について

	評 価 項 目	A	B	C	D
1	園の施設の安全点検，消毒等の衛生管理をしっかりと行っている		○		
2	諸費等の会計処理を正確に行っている	○			
3	保育等の問題や保護者から出た意見は必ず園長に報告している	○			

【課題・成果等の考察～記述】

1 月末に安全点検日を設け、施設設備の安全点検を実施するとともに、不審者対応や地震、火災など緊急時や災害時における避難訓練を実施している。今後、様々な災害を想定しながらその対応方法や職員の役割分担の理解を一層深め、災害に備えていく必要がある。また、いかなる時も子ども自身が「自分の命は自分で守る」という意識をもち、子ども自らが行動できるよう育てていきたい。手に触れる箇所や玩具等の消毒は、気を緩めず徹底継続する必要がある。

2 諸費等の会計処理は正確に行っているが、事務職員の配置を望みたい。3月のみ一時預かり保育料金を現金徴収しているが、口座引落に移行してほしい。

3 ソフト上の危機管理として、毎日、打合せで、各クラスの活動や成長の様子、問題等報告し合い全職員で確認している。さらに、「ヒヤリハット」記録を導入し、今後起こりうる事故怪我等の未然防止に役立てているが、一層、職員の危機意識の高揚を図り、園長には、些細な内容でもタイムリーに報告するよう習慣付けたい。

今年度も特に大きな事故や怪我，苦情などなく保護者の協力の下、円滑な幼稚園運営ができたことに職員一同 感謝したい。

4 学校関係者評価委員会結果

市橋委員から

- ・ 個人懇談に限らず、日々のお迎えに行った際の会話や対応で子ども一人一人をしっかりと見ていることが分かる。
- ・ 季節のイベントや外部講師による指導など、様々な刺激を感じられる活動が多く魅力的な幼稚園だと思う。
- ・ 園バス所有の強みを活かし、園外保育を多く行ってくれるのは大変ありがたい。
- ・ コロナ以前にあったように親子遠足など保護者も一緒に楽しめるイベントがあると嬉しい。
- ・ 入園前の保護者へのアピールとして、インスタグラムなど受動的に情報を見てもらえるツールの使用を検討してはどうか？HPは、保護者自ら調べてもらわないと見てもらえないが、SNSはタグ付けすることで園の名前を知らない人にも情報を受け取ってもらいやすくなる利点がある。
- ・ 預かり保育の実施時間をもっと強くアピールすることで、就労している保護者に幼稚園を探す選択肢の1つにしてもらえることにも繋がると思う。

南條委員から

- ・ 重点教育目標「はっきり話す子」の育成に向けて共通理解を図り、園全体で取り組んでいることが子どもの姿からよく分かる。
- ・ 事故怪我を防止するため、様々な避難訓練を実施し、「自分の命は自分で守る」意識をもたせて

いることが素晴らしい。

- HPには楽しそうな子どもたちの笑顔が見られる。行事ごとに反省を活かし、指導計画の改善に結び付けている取組の証である。
- 様々な活動を実施し、専門的な外部講師の力を有効に活用している点がよい。
- アプローチカリキュラムなど作成し、小学校就学に向けて計画的に育てていることにより、保護者の不安を払拭し、安心感を得ることができる。今後も努力を続けてほしい。